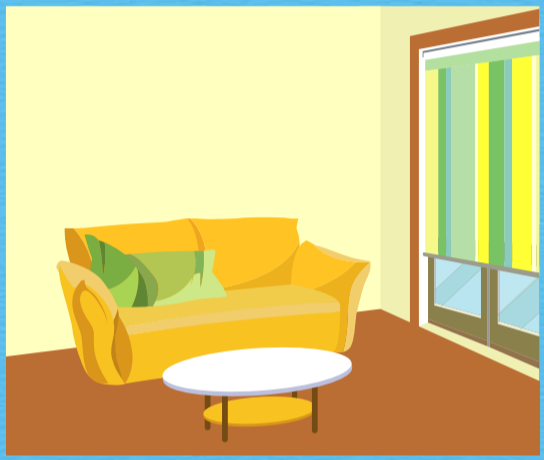
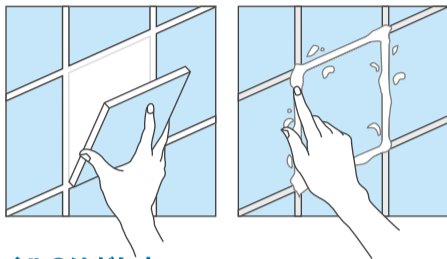
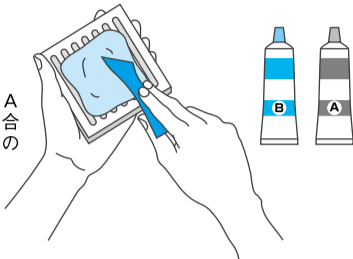
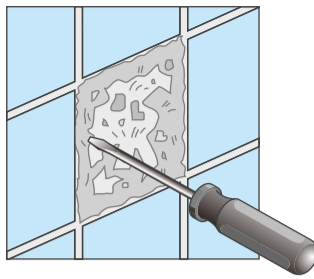


家の お手入れ



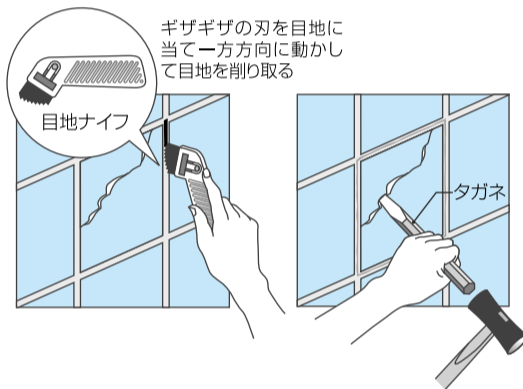
タイルのはがれ

- 1 タイルがはがれた箇所に残っている目地や接着剤をマイナスドライバーでかき落とす。下地の汚れがひどい場合は、浴室用洗剤で落とし、十分に乾燥させる。
- 2 エポキシ系接着剤のA剤とB剤を同量混ぜ合わせたものをタイルの裏に厚めに塗る。
- 3 上下、左右のすき間が同じになるようにタイルを貼りつける。このとき、接着剤がはみ出したらすぐにボロ布で拭き取る。接着剤が乾燥したら、目地のかけ落ちやヒビ割れの補修と同じように目地用セメントで目地を埋める。



割れたタイルのはがし方

大きなヒビ割れが起きたり、割れて一部がはがれているような状態のタイルははがして新しいタイルに貼り直すのが一番。その際は、はがすタイルのまわりの目地をマイナスドライバーか目地ナイフで削り取ってから、タイルの割れ目にタガネやドライバーを当ててカナヅチで叩いてタイルをはがすようにします。その後は、タイルのはがれと同じ方法で補修してください。

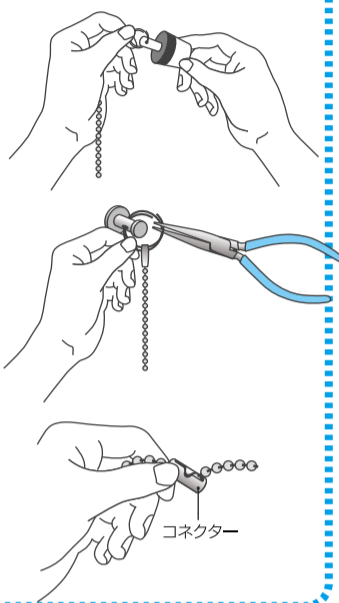


水まわりの 補修

One Point Advice

ゴム栓とチェーンの交換

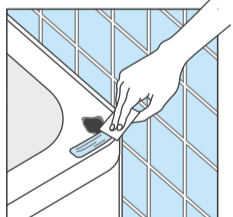
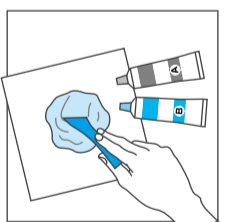
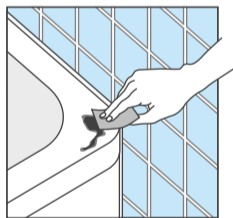
洗面ボールや浴槽の水がなくなるまで減ってしまうのはゴム栓の劣化が原因と考えられます。そんな場合は、使用中のゴム栓をはずして持っていく、同じサイズのゴム栓を購入して交換しましょう。交換する際、リングが固い場合はペンチなどで広げると楽に作業ができます。鎖が切れた場合は、鎖の端のリングをはずして新しい鎖に交換を。鎖だけのもの、鎖にゴム栓がついているもの、があるので、状況に合わせて選んでください。また、切れた鎖をつなぐ専用のコネクターも市販されています。



ホーローのはがれ

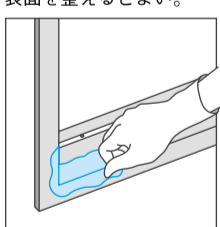
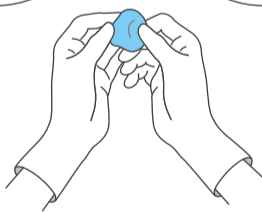
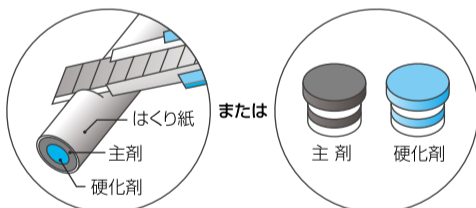
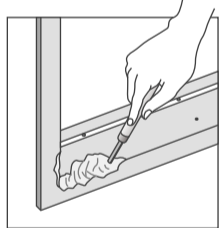
ホーローの表面がはがれた場合、そのままにしておくとサビがさらに広がってしまいます。カケが小さなうちにホーロー補修用充填剤を使って補修しましょう。洗面ボウルのひび割れも同じ方法で直せます。

- 1 ホーローがはがれた箇所とその周囲に耐水サンドペーパー（150番くらい）をかけて、サビと汚れをきれいに落とす。
- 2 ホーロー補修剤は2本セットになっている。その主剤と硬化剤を同量絞り出してよく混ぜ合わせる。ホーローと色が合わない場合は、水彩絵の具を少量混ぜ合わせて調色するとよい。
- 3 混ぜ合わせたらすぐに、名刺ぐらいの厚さの紙をヘラ代わりにし、紙をしならせるように塗りつける。ホーロー補修剤は、何度も塗り直したりせずに、できるだけ一度で手早く塗るのがコツ。表面に凹凸ができた場合は、完全に固まってから220番のサンドペーパーでこすってから、400番くらいのサンドペーパーで仕上げるようにする。

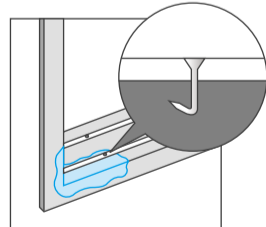


木部の腐り補修

- 1 腐っている部分をノミや彫刻刀などを使って取り除き、水分を乾燥させてから、木クズやホコリを掃除機で吸い取っておく。
- 2 木部用エポキシパテを必要量切り取って練り合わせる。2つの容器に入っているタイプはそれぞれ同じ量を取り出して練り合わせるように。
- 3 補修部分に練ったエポキシパテを押し付けるようにして埋め、形を整える。補修部分の凹凸が気になる場合は、完全に硬化してからサンドペーパーで表面を整えるとよい。

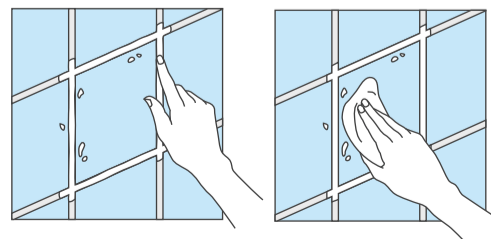
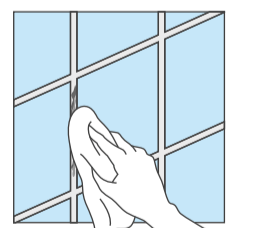
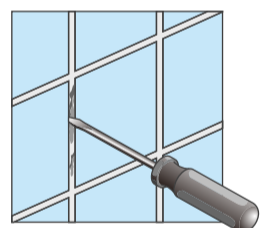


埋める箇所に引き戸レールがある場合は、レールをとめるクギを曲げて埋め込んでおくと、クギが浮きあがるのを予防できる。



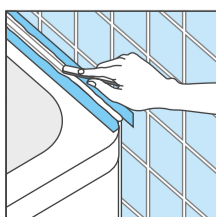
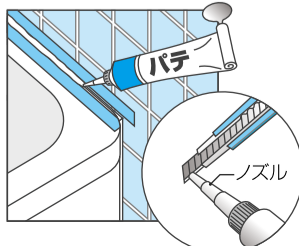
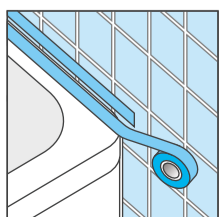
目地の欠け落ち、ヒビ割れ

- 1 目地に欠けやヒビが入っている場合、そのまわりの目地も弱っていることが多いので、マイナスドライバーでつついて簡単に崩れるところはすべてかき落とす。
- 2 目地用セメントに適量の水を加えてヘラでアイスクリーム状ぐらいの固さに練る。
- 3 セメントの接着をよくするため、水をスプレーするか、水を含ませた布で拭くなどして埋める目地部分を湿らせる。
- 4 指やヘラを使ってセメントで目地を埋め、指で押し込むようにならない。タイルについた余分なセメントは乾かないうちに水に濡らして固く絞った布で拭き取る。



浴槽や洗面台と壁のすき間の補修

- 1 すき間に古いシールがある場合は、浴槽側と壁側にカッターで切れ目を入れて引張ってはがす。残ったシールは割りばしなどで、こそぎ落とす。その後、汚れをよく洗って乾燥させる。冬や急ぐ場合は、ドライヤーを使って乾かすとよい。
- 2 完全に乾いたら、シールする分のすき間を残して、浴槽側と壁側にマスキングテープを貼る。
- 3 シリコン充填剤のノズルの先をすき間の幅に合わせて切り落としてから、シールする部分に当て、付属の絞り出し金具を使って均一に絞り出して埋めていく。
- 4 付属のヘラなどで余分な充填剤をかき取るようにしてから、充填剤が固まらないうちにすぐマスキングテープをはがす。



埋め込みタイプの浴槽の場合、壁との継ぎ目にすき間ができると、そこから水や湯気が侵入し、下地や土台を腐らせる原因になるので、早めに補修を。また、シールのカビが取れなくなった場合も同じ方法でシールしなおすときれいになります。